

第18回埼玉県少女サッカーフェスティバル実施要項

1. 目的

本大会を通じて競技者や指導者に対して技能の研鑽や他チームとの交流の機会を与えることによって、地域社会の健全な発展を助けサッカースポーツを通じて心身の健全発達に寄与することを目的とする。また、男子チームに所属する女子選手へも参加の道が開かれているなど、より多くの選手・チームに参加の機会を与えることによって女子選手同士の試合をする機会を増やすことも目的とする。

2. 主催

公益財団法人埼玉県サッカー協会

3. 主管

公益財団法人埼玉県サッカー協会第4種委員会

4. 運営

第18回埼玉県少女サッカーフェスティバル実行委員会

5. 協賛

(株)三崎

6. 期日

4月25日～7月26日の中で運営者が定める日時

(大会期間中において、参加チームの学校行事予定などにより変更の可能性もあり)

7. 会場

県内各会場

8. 参加資格

(1)出場選手は、(公財)埼玉県サッカー協会に登録された12歳以下の女子小学生であること

(2)期限内にエントリーされた選手のみが出場資格を有する

ただし新規登録選手および転居に伴う移籍選手は、運営責任者に対し書面で申請し認められた場合に限り追加選手として出場資格を得ることとする

(3)出場チームは、試合会場に出場選手の選手証又は登録選手一覧(顔写真のあるもの)を印刷し持参することとし持参できない選手、また選手証等に顔写真の無い選手は試合に出場できない

なお、スマートフォン・タブレットでの確認は認めない

(4)出場チームは、(公財)埼玉県サッカー協会に登録された選手で構成されたチームであれば単独チーム・合同チームなどを問わない。ただし選抜チームは認めない

(5)2020年4月5日(日)までに出場申込書を、また、4月10日(金)までにメンバー表を下記まで送付すること
<大会事務局> g01@g-fa.net

(6)参加申込チームは2020年4月11日(土)におこなう代表者会議に1名出席すること

9. チーム編成

- (1)大会に出場するチームの選手数は、試合毎に1チーム16人以内とする
- (2)決勝トーナメントに出場できる選手は、予選リーグで出場チームの選手としてエントリーし、ベンチ入りした選手であること
- (3)上記に適合しない行為があった場合は、本大会への出場を認めない
それ以降の処置については本大会の規律フェアプレー委員会で決定する

10. 競技方法

- (1)大会は、予選リーグ及び決勝トーナメントを行い、順位を決する
 - ①予選リーグの形式は代表者会議で提示する
 - ②勝ち上がるチーム数については参加チーム数によって実行委員会で調整する
具体的な数は代表者会議において提示する
 - ③組み合わせは代表者会議時に抽選する
- (2)(公財)日本サッカー協会発行の「8人制競技規則(最新版)」を適用する
- (3)試合球は4号ボールとする
- (4)試合時間は15分ハーフとし、ハーフタイムインターバルは5分間とする
リーグ戦は勝点数(勝試合=3点/引分試合=1点/敗試合=0点)・得失点・総得点・当該チームの対戦成績・
これでも順位が決まらない場合は、3人制のPK戦を行なう
トーナメント戦は試合時間内に勝敗が決しない場合には前後半5分ずつの延長戦をおこなう
それでも勝敗が決しない場合には3人制のPK方式により勝敗を決する
- (5)出場選手数が6人に満たない場合は試合を不成立とする
そのチーム全ての試合を不戦敗扱い(スコア0対5)とする
- (6)キックオフから直接相手のゴールに入った場合は、相手にゴールキックが与えられる
- (7)グラウンドの大きさは縦68m×横50mとし、ペナルティエリアは12m、ゴールエリアは4mで、センターサークル及びペナルティアークの半径は7m、ペナルティーマークは8mとする
ゴールの大きさは少年用サイズのものを使用する
- (8)選手交代は、試合開始前に最大8人までの交代要員の氏名を審判に通告しておき、インプレー中でも指定されたエリア内で自由に選手交代をすることができる。この交代選手の出退や交代回数は自由な交代制に基づく
- (9)本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律フェアプレー委員会で決定する
- (10)本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場出来ない
- (11)選手が退場を命じられた場合、そのチームは交代要員の中から選手を補充することができる
- (12)ベンチに入ることができる要員は、試合毎に提出されるメンバー票に記載された交代要員を含む16名以内の選手、コーチングスタッフ3名までとし、保健要員1名を追加することができる
- (13)試合中にテクニカルエリアから戦術的指示ができる指導者は、他の指導者と識別できるビブス等を着用した1名のみとする
- (14)メンバー票は試合毎に開始時間30分前までに大会本部へ2部提出し、運営委員と主審立会いの下に、使用ユニフォームの決定を行う(ユニフォームチェックはカラー写真でも可)
- (15)メンバー票記載選手は試合開始10分前に本部前に選手証又は登録選手一覧(顔写真のあるもの)を持参し、メンバー票記載選手全員の本人確認や安全確認をうける
なお、スマートフォン・タブレットでの確認は認めない

11. ユニフォーム

- (1)ユニフォームには大会期間中同一の選手固有の番号をつける。また、ゴールキーパーについても同様とする
なお、背番号は貼り番号でも可とする
- (2)パンツにも背番号と同じ番号をつけることが望ましい
- (3)正ユニフォームの他に、異なる色の副ユニフォーム(GKを含め上衣、パンツ、ストッキング)を必ず携行すること

12. 審判

- (1)審判員は、主審と副審2名および第4の審判員の4名の構成とする
- (2)審判員は出場チームが2名以上帯同する審判員が審判割当に従い審判を担当する
ただし、決勝トーナメントにおいては、大会実行委員会が派遣依頼した審判員が担当する場合もある

13. 試合会場における傷病について

大会実行委員会は応急処置に協力するがその処置については当該チームの責任とし、出場選手は各自スポーツ安全保険等に必ず加入していることを前提とする

14. 天候による処置について

- (1)試合の停止や中止及び開始に関する決定は、当該試合の審判員の判断によるものとする
ただし、これについて大会実行委員会が助言できるものとする
- (2)試合中の飲水は、選手の健康状態を考慮し必要により飲水タイムをとる
- (3)雷対策の処置は次のとおりとする
 - ①試合開始前から雷鳴が聞こえ落雷の恐れがあると判断した場合は、試合開始を停止し、次の試合開始予定時間20分前になっても落雷の恐れが継続している場合、当該試合は延期として別途試合の予定を大会実行委員会で設定する。これに伴いその後の各試合開始予定時間が変更される
次の試合開始予定時間の20分前までに試合開始可能と判断できた場合は、規定時間での試合を開始する
この場合、以降の試合はそれぞれ遅れて開始される
 - ②試合開始後に雷鳴が聞こえ落雷の恐れがあると判断した場合は、即刻試合は中断する。この中断が20分以上続いた場合、試合は中止される。この試合の結果処理は下記のとおりとする
 - 1)試合の中止が試合の前半が終了後であれば、試合が中止された時点での勝敗と、スコアがその試合の結果となる
 - 2)試合の中止が試合の前半終了前であれば、その試合は不成立試合とし、後刻もしくは後日の再試合となる
再試合の予定は大会実行委員会で決定する

15. 表彰

決勝トーナメント優勝から4位までのチームには表彰状および表彰品を授与する

16. 懲罰

実施要項の各条項が守られない場合、または本大会の運営にあたり不適切な行為などがあった場合については、本大会の規律フェアプレー委員会において審議する

17. 代表者会議

2020年4月11日(土) 時間・会場未定(決定次第公表する)